

「XV型コラーゲン変異を原因とする拡張型心筋症の検索」へご協力をお願い

—平成元年1月1日～平成26年3月31日までに岡山大学病院・循環器内科において心臓カテテル検査を受けられた方へ—

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授 大塚 愛二

生体制御科学専攻人体構成学分野

分担研究者 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 百田 龍輔

生体制御科学専攻人体構成学分野

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 技術職員 小見山 高明

生体制御科学専攻人体構成学分野

岡山大学病院 病理診断科 教授 柳井 広之

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 准教授 中村 一文

循環器内科学

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 三好 亨

先端循環器治療学

1. 研究の意義と目的等

1) 研究の意義

XV型コラーゲンを原因とするヒトの病気は見つかっていませんが、遺伝子欠損マウスで拡張型心筋症が見られるとの報告があります。また、私達はショウジョウバエを用いた研究より、基底膜成分 XV/XVIII 型コラーゲン相同分子変異体において加齢とともにミトコンドリア機能が著しく低下し、骨格筋・心筋の変性が起こること、またそれを薬理的に改善できたことを報告しました。こうしたマウスやショウジョウバエの研究から、私達は拡張型心筋症の症例の中に XV 型コラーゲン遺伝子変異を原因とする症例があると考えました。この研究により XV 型コラーゲンと心筋症の関連が明らかになれば、原因が不明だった拡張型心筋症にたいする新たな診断・予防・治療法の開発につながります。

2) 研究の目的

パラフィン切片標本を用いた心筋症の免疫組織診断法の開発を目指します。そして、これまでに集められた拡張型心筋症の心筋組織のパラフィン標本を用いて、XV 型コラーゲンに異常の可能性のある症例の検索を行います。

3) 被験者が被る利益・不利益等

個人情報の管理には細心の注意を払い、被験者が特定されることはありません。

被験者の方々が被る利益・不利益等はございません。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

岡山大学病院の循環器内科で診療を行っている心筋症の患者さま

2) 研究期間：

平成26年6月倫理委員会承認後から平成31年3月31日

3) 研究方法：

平成元年1月1日から平成26年3月31日までの間に当院において心筋症と診断され治療を受けられた患者さまで、研究者が診療情報をもとに心筋のパラフィン標本の切片を作成し心筋の組織像を調べます。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢，性別，家族歴，既往歴
- ・ 診察所見，治療内容，心電図や冠血流予備量比などの検査データ

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学医歯薬学総合研究科人体構成学内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し，その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので，平成27年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科人体構成学

職名：助教 氏名：百田 龍輔

電話：086-235-7091 ファックス：086-235-7095